

平成 19 年度 事業 報告

平成 19 年 4 月 1 日から

平成 20 年 3 月 31 日まで

当財団法人は、産業廃棄物の適正な処理、その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立された法人であり、適正な廃棄物処理に万全を期して県民に信頼される廃棄物処理センターとして受け入れを促進し、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する情報の発信や啓発事業に取り組み、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

1 公益（普及啓発）事業

(1) 情報公開

財団法人の組織や施設の概要、利用者・見学者への案内等について情報発信を行うため、ホームページを開設している。

平成 17 年度から、産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等の情報を公開している。

また、施設の見学案内を掲載し、ホームページで申し込めるサービスを開始し利用者の便宜を図っている。

（主な掲載項目）

- ・ 事業団概要、施設概要、利用案内、施設見学案内
- ・ 種類毎の受入基準、搬入予約、申込書等諸様式
- ・ 事業報告書、寄附行為、経営改善計画書
- ・ 環境測定結果、廃棄物一口メモ、廃棄物 Q & A
- ・ 維持管理記録簿

(2) 廃棄物の適正処理に関する啓発

保健衛生イベントにおいて、不法投棄の防止と最終処分場の現状やリサイクル製品推進事例、廃棄物サンプル等を紹介し、環境保全への意識高揚及びリサイクルの促進に取り組んだ。

また、啓発活動を充実するため、新たに啓発用パネルを 2 枚（A0 判）作成した。

ア 出展・展示の実績

- ・ 7 月 施設公開 希少植物観察会
- ・ 9 月 奥州市保健衛生大会
- ・ 10 月、11 月 岩手県環境保健研究センター 一般公開

イ パネルの掲載内容

- ・ 廃棄物の定義と種類 ・ 産業廃棄物と一般廃棄物 ・ リサイクル事業例

- ・ 廃棄物の受入実績
- ・ 環境測定結果（排ガス、処理水、地下水）
- ・ 埋立処分場の種類

（平成 19 年度作成パネル）

- ・ いわてクリーンセンターの近くで確認された希少植物
- ・ いわてクリーンセンターの近くで確認された希少猛禽類

(3) その他視察等に対する啓発活動

県内外からの視察者（平成 19 年度 714 名）に対する当センターでの処理状況の説明や、電話等による廃棄物処理相談に対する処理方法の指導及びリサイクル事業への取り組み事例等の紹介などにより普及啓発活動を行った。

(4) 理事会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 19 年 5 月 29 日	第 35 回理事会	エスポワール いわて	1 理事長の選任 2 平成 18 年度事業報告及び収支決算 3 資産の総額の変更 4 評議員の選出 5 規定の一部改正
平成 19 年 7 月 4 日	第 36 回理事会	岩手県庁	1 常務理事の選任
平成 20 年 3 月 18 日	第 37 回理事会	岩手県民会館	1 副理事長の選任 2 平成 19 年度収支補正予算 3 経営改善計画の長期収支計画書の見直し 4 中期経営計画書（平成 20 年度～平成 22 年度） 5 平成 20 年度事業計画及び収支予算 6 平成 20 年度短期借入金の借入限度額 7 平成 20 年度長期借入金の借入限度額及び担保の提供 8 役員改選による理事長、副理事長及び常務理事の選任 9 寄附行為及び財務処理規程の一部改正

(5) 評議員会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 19 年 5 月 18 日	第 18 回 評議員会	岩手県民会館	1 会長及び副会長の選任 2 平成 18 年度事業報告及び収支決算 3 資産の総額の変更 4 役員の選任 5 規程の一部改正

平成 20 年 3 月 11 日	第 19 回 評議員会	岩手県水産会 館	1 役員の選任 2 平成 19 年度収支補正予算 3 経営改善計画の長期収支計 画書の見直し 4 中期経営計画書（平成 20 年 度～平成 22 年度） 5 平成 20 年度事業計画及び収 支予算 6 平成 20 年度短期借入金の借 入限度額 7 平成 20 年度長期借入金の借 入限度額及び担保の提供 8 役員改選による新役員の選 任 9 寄附行為及び財務処理規程の 一部改正
平成 20 年 3 月 18 日	第 20 回 評議員会	岩手県民会館	1 新役員の選任

2 環境保全事業

(1) 周辺環境美化活動

平成 19 年 4 月と 11 月にセンター、委託業者及び第 期最終処分場整備工事請負業者の 3 者合同で「クリーン作戦」を行い、センター周辺道路の環境美化を行った。

(2) 希少動植物保全事業

ア ビオトープに移植した希少植物の生育状況を調査した。

また、整備予定地周辺に飛来する猛禽類の繁殖状況を調査した。

事業費 5,460 千円

イ センター施設公開日に自生する植物の生態系保護活動の一環として、環境保全の大切さを学ぶ観察会を開催した。

地元小学生や地元住民 45 人参加

3 廃棄物処理事業

(1) 適正な廃棄物処理・管理の推進

平成 19 年度は、242 日廃棄物を受け入れ、受入量は 54,469 トン(前年度比較 622 トン減)で、1 日平均受入量は 225.07 トン(前年度比較 1.64 トン減)となった。

平成 18 年 9 月北上市の民間廃棄物焼却施設が火災によって搬入停止したことから、焼却物が大幅に増加した。特に、医療廃棄物が大幅な増加となった。

一方、減少したのは、木くずや燃え殻で、これはバイオマスボイラー等の燃料としてリサイクル利用が進んできたことによるもの、また、廃石膏ボード等の減少は、建築基準法改正による住宅着工件数の減少等によるものと考えられる。

なお、県民の環境保全意識の向上や排出事業者の廃棄物の多様化により利用件数は増加し、契約件数は平成 19 年度末で 9,353 件(前年度比較 460 件増)となった。

(別表 - 平成 19 年度廃棄物受入実績)

(2) 最終処分場盛土堤の構築

最終処分場の受入量の増加を図るため、既存処分施設の区画変更を行う天端標高 106.5m の盛土堤を構築した。

事業費 66,549 千円

(3) 財務処理事務のシステム

新公益法人会計基準による決算を実施するとともに、平成 19 年度税制改正に伴う会計システムに更新した。

事業費 220 千円

(4) 環境保全の推進

排ガス・排水等の測定結果は、地元と締結している環境保全協定値を超えることはなかった。

事業費 3,590 千円

平成 20 年 3 月 5 日焼却炉の月例点検後の立ちあげ昇温作業時に江刺区玉里地区のリンゴ生産組合から異臭がするとの申し立てがあった。異臭の原因を調べるため 4 月 16 日の焼却炉立ちあげ時に臭気測定を行い、その結果を報告することとしている。

4 第 期最終処分場整備事業

(1) 土木本体工事及び水処理施設工事の継続実施

ア 平成 18 年度から平成 20 年度までに埋立容量 727,000 m³ の最終処分場を整備するため、土木本体工事を施工中である。(平成 20 年 3 月末進捗率 58.8%)

事業費 837,165 千円(18~20 年度 2,931,951 千円)

イ 平成 18 年度から平成 20 年度までに浸出水処理能力 150 m³/日の浸出水処理施設を整備するため、平成 19 年度は浸出水処理施設の詳細設計及び処理水槽工事を行った。(平成 20 年 3 月末進捗率 46.8%)

事業費 583,202 千円(19~20 年度 1,247,400 千円)

(2) 環境影響への回避又は低減

濁水処理施設を設置し、工事による水の濁りを除去するとともに pH 調整を実施した。